

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3171100112		
法人名	株式会社 兵庫福祉保険サービス		
事業所名	松風の郷 東浜		
所在地	鳥取県岩美郡岩美町陸上494		
自己評価作成日	令和8年1月29日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kai.gokensaku.nhl.w.go.jp/31/index.php?action=kouhyou_detail_022_kan1=true&Ji_gyosyoCd=3171100112-00&ServiceCd=320&Type=search
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	有限会社 保健情報サービス
所在地	鳥取県米子市米原2丁目7番7号
訪問調査日	令和8年2月21日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者様、一人一人の思いや生活のリズムを大切に「ゆっくり 一緒に 楽しく」を理念に安心して過ごせる環境作りに心かけている。また、海と山のバランスが良く、散歩や外出の機会を増やし地域との型と関りながら生活が出来るように支援している。利用者様に満足して頂ける支援が出来るよう職員の人材育成に力を入れています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

JR東浜駅前に建つ民宿を改修された家庭的な9人1ユニットのグループホームです。世界ジオパークに認定された美しい海岸線に沿った街並みは、のどかで優しい雰囲気が感じられます。「ゆっくり 一緒に 楽しく」の理念を玄関に飾られ、東浜独自の「喜怒哀楽」の理念も作られ、利用者一人ひとりが感情豊かに住み慣れた地域で安心して暮らせるよう支援されています。地域の方たちとの交流も大切にされており、海岸清掃、東浜地区の防災訓練に参加されたり、予防体操や地域のサロンへも参加されています。ホームの隣に神社があり、初詣に気軽に行かれています。食事を楽しめる工夫としては誕生日や行事に際には利用者のお好みの物を取り入れたり、みなさんで手作りのおやつも作られたり、年末には鍋会も行なわれました。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらい 3. 家族の1/3くらい 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらい 3. 職員の1/3くらい 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらい 3. 家族等の1/3くらい 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己 評価	外部 評価	項 目	自己評価	外部評価		
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I.理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所独自に「喜怒哀楽」の理念を掲げ利用者様の感情豊かに住み慣れた地域で安心して過ごしていただけるよう支援している。	玄関に立派な毛筆で書かれた理念が飾られており、東浜独自の「喜怒哀楽」の理念も職員で考えられ、利用者一人ひとりが感情豊かに住み慣れた地域で安心して過ごせるような支援を実践できるよう取り組まれています。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	海岸清掃・防災訓練・予防体操などに参加している。また、地域サロンに参加できるよう支援している。	海岸清掃・東浜地区の防災訓練や民生委員が主催されている予防体操などに参加されています。また、地域サロンに参加できるよう支援されています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域事業に参加することで、認知症を理解して頂けるよう会話している。			
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2カ月に1回地域の方、役場職員、家族様と施設の様子、状況、行事等報告、意見交換を行いサービス向上に活かしている。	2カ月に1回奇数月に地域の方、役場職員、家族と施設の様子、状況、行事等報告、意見交換を行いサービス向上に活かしておられます。	運営推進会議の進め方や議題について検討されることもよいと思います。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	担当者の方と推進会議、ケア会議を通じて事業所の実情や取り組み・利用者様の状況や情報など積極的に協力関係を築いている。	担当者の方と運営推進会議や事例検討を行う町のケア会議を通じて事業所の実情や取り組み・利用者様の状況や情報などを伝え、積極的に協力関係を築いておられます。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	3カ月に1回の身体拘束の具体的な行為について意見交換を行い利用者様、職員共に身体拘束をしない介護に取り組んでいる。	3カ月に1回、身体拘束委員会を開催され、身体拘束の具体的な行為について意見交換を行い利用者、職員共に身体拘束をしない介護に取り組まれており必須研修も実施されています。施錠をしないグループホームとして開設されました。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止について職員間で共通理解を持ち日常の中で不適切なケアがないよう注意している。また、3か月に1度高齢者虐待防止の会議を行い職員間で言葉遣い・対応の姿勢等声をかけながら虐待防止に努めている。	虐待防止について職員間で共通理解を持ち日常の中で不適切なケアがないよう注意されています。また、3か月に1度高齢者虐待防止委員会を浦富・東浜合同で開かれています。職員間で言葉遣い・対応の姿勢等声をかけながら虐待防止に努めておられ、虐待の芽チェックリストも活用されています。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見人の付いておられる利用者様もおられ入所の際に確認し学ぶ機会がある。また、必要な際は担当者と話し合い検討するよう支援している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約締結、解約の際、疑問や不明点が無いか尋ね、十分に説明しているが、後に電話や来所時などに声をかけ納得して頂けるように努めている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会や電話の際、職員が声をかけ利用者様の状況や状態を説明しその中で要望や意見を伺い反映できるように努めている。	利用者からは日々の会話の中から意見・要望を聞かれており、家族へは面会や電話の際、職員が声をかけ利用者の状況や状態を説明しその中で要望や意見を伺い反映できるように努めておられます。プラン変更の際にも意向確認され、毎月、様子の分かる写真付きのお便りも送られており、SNSの利用やLINEアプリで個人の写真も送付されています。家族との信頼関係の構築にも取り組まれています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的に面談(オンライン含む)を通して職員の発言に耳を傾け、円滑でやりがいのある職場作りを目指している	ホームで管理者が職員の面談をされ、代表者にはホームからの意見を伝えられています。更にオンラインで本社と職員の面談も行なわれており、職員の意見に耳を傾け、やりがいのある職場作りを目指しておられます。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	長時間労働の職員に対しては、賞与に大きく反映させる事で、日々の負担感が昇華出来る様な環境を整え実践している	長時間労働の職員に対しては、賞与に大きく反映させる事で、日々の負担感が昇華出来る様な環境を整え、働きやすい職場環境、風通しのよい職場を目指しておられます。LINEグループを活用され上司への相談・質問も行なわれています。	
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	介護福祉士資格取得に向けて、最低限必要な初任者研修や実務者研修については、会社費用負担を実施する事で、個人に負担が無い様に配慮しながら、社外での研修参加を奨励している	介護福祉士資格取得に向けて、最低限必要な初任者研修や実務者研修については、シフトの調整も行ない、費用負担を会社が行い、個人に負担が無い様に配慮しながら、社外での研修参加を奨励されています。eラーニングの活用もされています。	

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	残念ながら神戸に事務所がある為、運営施設の近隣の同業者と密なやりとりは出来ない		
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	日常、利用者様と関わる中で、利用者様の、不安や困っていることなど伺い、早急に対応できるよう言葉を選びながら声をかけ安心して頂けるよう関係作りに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	利用者様の様子や変化、困っていること等、職員と共有し家族様にも相談するなど関係作りにつ溶けている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	アセスメントの際、必要とする支援を見極め、報告、連絡、相談を意識し他職員と協力しながら今必要な支援が出来るよう努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者様の立場に立ち考える事で、利用者様本位に考えられるよう努めている。		
19		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月、松風便り、月まとめ等施設での様子を送り必要であれば電話連絡してる。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人の習慣を大切にし家族、友人の面会も行っている。希望があれば、家族と電話で会話出来るよう支援している。	本人の習慣を大切にし家族、友人との面会も行なわれています。希望があれば、家族と電話で会話出来るよう支援されています。	出かけることが難しい場合には、写真や手紙、電話での昔馴染みとの思い出話していただき、回想法に繋げ、会話の中から思いを汲み取られるとよいと思います。
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーション等、職員も一緒に利用者様同士が交流できるように席の配置等、工夫している。自身で出来ることは見守りながらして頂き必要な部分を支援することで関わり合いを支援している。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後も相談があれば支援している。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	アセスメントを基に利用者様の思いや、希望を伺い、本人に合わせた支援に努めている。日頃の会話の中で困りごと等聞き、家族様にも情報を伺い利用差者様本にに支援でき切るように検討している。	東浜で勤務されている職員は経験年数の短い方も多いので、経験豊富な職員が利用者の思いを引き出せるようなきっかけ作りのアドバイスをされ、チームで利用者の思いや意向が把握できるよう努めておられます。	長生きをするための生きがいになるような本人が理解できるような1行目標の作成を検討下さい。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	いつもと違う様子や身体の状態をアセスメントを基に利用者様の生活歴や環境把握に努めてる。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	月に1回カンファレンスや会議で一人一人の状態を話し合うことで現状の把握に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	生活の中で個々にある課題を探り、カンファレンスや会議で意見交換を行い見直しや課題検討を行っている。また、家族、本人の意見、意向に沿った計画作成をしている。	カンファレンスで利用者の課題に対しての気付きについて伝えられ、職員はどんなことをすれば本人のためになるか提案ができるよう心掛けておられます。また、本人・家族の意見・意向に沿える計画になるよう図られています。評価・見直しは6ヶ月ごとに行われています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子を記録に残し様子の変化や気付き等あれば検討、連絡ノートを活用し職員間での共有を行い計画の見直し等、実践に活かしている。	ケア記録はタブレット入力されており、日々の様子を記録し、状態変化や気付き等あれば検討、連絡ノートを活用し職員間での共有を行い計画の見直し等、実践に活かされています。計画の見直しの際には留意点も伝えられ、担当と計画作成者は素案作成の際に記録の振り返りも行ない、他の職員に情報がスムーズに伝わるよう気を付けておられます。	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	状況に応じて対応できるように都度、検討を行いサービス支援が出来るように取り組んでいる。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域サロン・SOSネットワーク・消防・包括等と参加、連絡を取り合い楽しむことが出来るように支援している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	施設には嘱託医が往診しているが、家族、本人が希望された病院を受診できるように支援している。また、町外であっても希望があれば、付き添い適切な医療が受けられるように支援している。	ホームには嘱託医の定期的な往診がありますが、家族、本人が希望された病院を受診できるように支援されています。また、町外であっても希望があれば、付き添い適切な医療が受けられるように支援されています。家族と受診される場合には情報提供書を渡されています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	関わりの中で知り得た情報を管理者、職員と共有し個々に適切な受診、看護が受けられるように支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院の際、治療状況や経過状況を病院関係者と連絡を取り、受け入れできるよう努め関係作りを行っている。	入院の際には、病院の地域連携室の情報提供を行い、連携し、治療状況や経過状況を連絡を取り、合い、早期退院を目指し、退院の際には退院カンファレンスもあり、退院後の生活の注意点等のアドバイスも受けられています。病院との関係性構築に努めておられます。	
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	観察上、本人が以前の状態において変化が見られる場合、視覚的、聴覚的情報や看護の視点から多職種と情報交換や管理者に報告しチームで支援に取り組んでいる。	基本的に看取り対応は行われていません。契約時には重度化の対応に関する指針の説明をされ、重度化した場合には「医療連携ケア同意書」に署名、捺印をもらわれています。本人の状態に変化が見られ、視覚的、聴覚的情報や看護の視点から多職種と情報交換や管理者に報告しチームで支援に取り組んでおられます。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救急、蘇生法の勉強会への参加をし職員は応急処置や初期対応の訓練を行い実践力を身に付けるよう努めている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防火訓練、避難訓練、防災訓練を年に2回行っている。また、地域の訓練にも参加し実践できるように協力体制を築いている。	防火訓練、避難訓練、防災訓練を年に2回行っています。また、ホームの目の前にあるJR東浜の駅に集まり地区の住民と一緒に避難場所に移動する訓練に参加され、実践できるように協力体制を築かれています。BCPを策定され、備蓄品の準備も行なわれています。	

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの尊厳とプライバシーの保持に努め、居室のドアを閉める、トイレではカーテンを閉める等配慮し、子供扱いや上から目線での言葉かけにならないように配慮しているが、今後も意識を高く持ち配慮していく必要があると感じている。	人生の先輩として、一人ひとりの尊厳とプライバシーの保持に努め、居室のドアを閉める、トイレではカーテンを閉める等配慮し、子供扱いや上から目線での言葉かけにならないように配慮されています。常に意識を高く持ち、配慮ある接し方を実践できるよう努めておられます。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様の希望や決定を尊重し、ゆっくり声をかけ自己決定が出来るよう待つことをしている。また、日々の生活の中で声かけを行い自己決定が出来るように支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員の都合を優先せず、利用者様一人一人のペースに合わせ生活希望に沿った支援している。体調や気分の把握しその日度によりに過ごしたいか本人の希望に沿った支援を心がけている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	個性を大切にし好みの服装や身だしなみ・おしゃれが出来るように支援している。衣類の汚れや着崩れがあれば声かけ直せるように支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	誕生日メニューや月行事には利用者様の好みや嗜好品等、も取り入れ食事を楽しめるようにしている。テーブルを拭いて頂いたり野菜を切って食事作りに参加していただくなど支援している。	食事は手作りの物と加工された物を併用され提供されています。誕生日メニューや月行事には利用者の好みや嗜好品を取り入れ、手作りのおやつを作られたり、年末には利用者には野菜を切って頂き鍋会も行なわれ、食事を楽しめるような工夫をされています。テーブル拭きや食事の準備も職員と一緒に行われています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	体調や状況によりその方の咀嚼・嚥下機能に合わせ食事形態を変えトロミなども使用している。水分摂取の声かけを行い時間を空けながら摂取できるように支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、声かけを行い口腔ケアして頂きその方の能力に合わせた支援をしている。歯科往診を受け医師の指示により自身ではできない所を支援している。	毎食後、声掛けを行い口腔ケアして頂き、個々の状況に応じた支援が行われています。歯科の往診時には医師の指示により自身ではできない所を支援されています。義歯は夜間預かり洗浄液に漬け清潔保持されています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンの把握し個々の能力に応じた排泄支援を行い、出来ることは自身でして頂き、出来るだけ自立に向けた支援している。	一人ひとりの排泄パターンを把握し、個々の能力に応じた排泄支援を行い、夜間はポータブルトイレを使用される方もありますが、日中は全員トイレで排泄されており、出来ることは自身でして頂き、出来るだけ自立に向けた支援になるよう心掛けておられ、最期までトイレで排泄できるよう目指しておられます。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	記録を確認し排泄コントロールを来ない水分摂取を声かけや毎朝のヨーグルトなど提供している。また、体操やこの歩行運動などにも取り組み職員で情報を共有している。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	利用者様の希望や状態に応じて入浴を楽しんでいただけるよう無理強いのないよう支援している。入浴拒否の方は、時間を空けたり職員をかえたりしここに沿った支援している。	入浴は基本的には週2回、お休みの日はありませんので、利用者の希望や状態に応じて入浴を楽しんでいただけるよう対応されています。入浴拒否の方もありますが、無理強いせず、時間を空けたり職員をかえたりなどの工夫をされ対応されています。リフト浴もあり、希望があれば同性介助も対応されています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	1人1人の生活習慣、体調などに合わせて休息の声をかけている。季節に応じて室温や寝具に配慮し気持ちよく安心して休息出来るように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	1人1人の意志からの薬の情報を確認し職員で共有している。体調変化があれば医師に相談し薬などの指示に従っている。また、薬剤師に薬について説明を求めるなどしている。	1人ひとり医師からの薬の情報を確認され、職員で共有されています。通常薬局からそれぞれ個別に分包され、用法・用量のが書かれた薬の情報が届けられており、薬剤師に薬についての説明も聞かれています。薬の変更時には注意し、体調変化があれば医師に連絡され指示に従っておられます。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者様の生活歴を尊重し洗濯物干し散歩、読書、塗り絵等、希望に添えるように支援している。利用者様の興味や得意なことなどを大切に楽しみにつながるように支援している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	晴れた日など天候を見ながら散歩にお誘いしている。散歩以外にも花見や紅葉狩り、ドライブなど行事に応じて外出支援をしている。	晴れた日など天候を見ながら散歩をされています。隣に神社があり、初詣も行かれたり、目の前がJRの駅なので列車に外に行かれる方もあります。散歩以外にも花見や紅葉狩り、ドライブなど行事に応じて外出支援が行われています。	

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者様の買い物の際、お金を持ち会計をして頂いている。利用者様の状況により支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族からの電話の際は、声をかけ電話に出られるように支援している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者様と一緒に行事の飾りつけやディスプレイ等季節感を感じられるように工夫している。廊下に行事写真等を切って頂き展示して共有の空間作りをしている。	民宿を改修された9人1ユニットのホームですので、家庭的な雰囲気の中で利用者は落ち着いて過ごされています。利用者様と一緒に行事の飾りつけやディスプレイ等季節感を感じられるように工夫されています。廊下に行事写真等を切って頂き展示して共有の空間作りが行われています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間では一人ひとりが会話に参加できるように話題を出したり会話が出来るように工夫している。気の合った利用者様同士で会話できるように環境作りを工夫し居心地よく過ごせる工夫をしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者様の状況に合わせ家族と相談しながら使い慣れたものや家族からのプレゼント等を飾り居心地の良い居室作りを工夫している。	利用者様の状況に合わせ家族と相談しながら使い慣れたものや家族からのプレゼント等を飾られ、動きやすい居室のレイアウトを考え居心地の良く過ごして頂けるような居室作りを工夫されています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	本人の意志を尊重し出来るように支援し声かけで安心してもらえるようにしている。トイレ・居室など分かりやすく案内表示し一人で出来るように工夫している。通路に割れ物など置かないように安心安全に生活が送れるように工夫している。		